



球磨村立球磨清流学園だより

清流から大海へ

令和8年度



令和8年6月15日発行 第3号 文責:校長 恒松

感謝！ 棚田学の先生は、村のみなさんです！



先日6月5日（金）、「球磨清流棚田学」が本格的に始動しました。本年度から初めて取り組み始めた学びです。今回、体験活動として”田植え”を全学年で行いました。球磨村は、ここでしか味わえない素晴らしい自然の中での”学び”が出来るのが強みです。五感を使って「本物」に触れながら、9年間の連続する学びへと繋げていくことができるのが、本校の強みでもあります。

この棚田学は、村のみなさんが先生となります。この日も、たくさんの地域の方々にお世話になりました。深く感謝申し上げます。お昼の豚汁も最高においしかったです。

これからもたくさんの場面でお世話になることと思います。よろしくお願いいたします。



棚田学へのご協力を！

この球磨清流棚田学は、子供たち自身が棚田を学びのフィールドとして様々な面から探究的に学んで参ります。まさしく棚田で経験を積んでこられた方、農業・林業を営んでこられた方、水路や石垣などの歴史をご存じの方など、村のみなさんが先生となっていただくと子供たちの学びが充実して参ります。なによりも、棚田で子供たちを見かけられたら、「頑張ってるね～」とお声をかけていただけるだけで、子供たちは喜びます。ぜひ、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

防災学も充実！

球磨清流学園の「ふるさと学」では、昨年度に引き続き「防災学」にも取り組んでいます。避難訓練の質の高さですが、新たに土砂災害を防ぐ「どんぐり植樹」も始動です。一人一鉢で育てていきます。

